

令和3年  
7月25日執行

# 松阪市議会議員候補者選挙公報

定数28名

松阪市選挙  
管理委員会

(第1頁)



日本共産党  
**とのむら 峰代**  
58歳

## コロナに負けない 命を守り 暮らし応援の市政に

- 市議会に送っていただきたい、この4年間、医療・介護の専門家として、市民のみなさんの声を市政に届けてきました。引き続きがんばります。
- みなさんといっしょに実現します**
- 市民病院の総合病院の機能堅持を
- PCR検査の拡充を
- ワクチン接種とともに、社会的検査を
- 少人数学級へ、定数改善と教員増を
- コロナ禍の自粛には補償の充実を
- 経営困難な業種への直接支援を
- くらし応援の施策を
- 介護保険料の負担軽減を
- 国保税の引き下げを
- 水道料金の引き下げを
- 子ども医療費窓口1000円負担の廃止を
- 地域公共交通のデマンド化の実現を
- 安全安心の交通対策、防災対策を
- 消費税引き下げを



無所属  
**あかさか かのり**  
**赤塚かおり**  
54歳

## 女性の視点、母親の思い… 四人の子育て経験を松阪市政にいかします。 「愛しています。松阪。」

自然と歴史、文化に彩られ、子育てにやさしく、安心安全な愛着の持てる街、そんな街づくりをめざします。

これまでも、これからも、  
母親目線で政策実現!

- 子育て世帯の育児や就労を全力支援
- 女性の多様な生き方をサポート
- 子供ひとり一人の力を引き出す教育環境の整備
- シルバー世代の健康増進や交通手段の充実
- 障がい者の視点から見る生活と就労のバリアフリー化
- 人と人との結びつきで地域コミュニティ機能をアップ



無所属  
**なかむら まこと**  
52歳

1期目の4年間で市民の皆様のお声を聴き  
実現に向けて頑張ってきました。  
その中で気づいたこと、  
やらねばならないことが見つかりました。  
想いを形にするために  
2期目にチャレンジします。

**安心・安全を実感できる松阪へ**  
～市民の声を市政へ届ける!～  
○安心して暮らせるまちへ  
高齢者の公共交通対策。地域を支える医療と介護。  
○こどもの笑顔が絶えないまちへ  
子育ての経済支援や学力向上。  
○自分らしく生きるまちへ  
現役世代に雇用とゆとりを



無所属  
**うみわき けんじ**  
**海住恒幸**  
62歳

## いつも市民派。ずっと無党派。

- 1. 住民自治を実現します!**  
ものごとを決める時に市民が意見を言える市政に
- 2. 密室政治を許しません!**  
市民が知らないところでものごとを決めない市政に
- 3. 議会を変えます!**  
市民の意見を決定に反映させるため市民がものを言う議会に

**弱者にやさしい政策をつくります!**

- 1. 市民病院を守ります**  
新型コロナウイルスを含む、救急医療や在宅医療、総合診療体制の確立など地域に役立つ医療の提供
- 2. 地域の公共交通を守ります**
- 3. 高齢者や障がい者を守ります**
- 4. 子どもを守ります**
- 5. 財政を守ります**

詳しい内容は海住恒幸のホームページをご覧ください

**プロフィール**  
1958年(昭和33年)美杉村下多喜生まれ。松阪市立中郡中、伊勢高校、早稲田大学を卒業。新聞記者(夕刊三番、読売新聞)20年を経て、44歳で松阪市議会議員に。以来、5期18年。



無所属  
**ひがし よしこ**  
**東村よしこ**  
57歳

## 自慢したくなるまちを目指して 笑顔あふれる松阪になるように～私が目指す松阪市の未来～

- ◆歴史や文化を知り、触れる機会が郷土愛を育みます  
松阪の文化や偉人を知る機会やタブレットの活用の充実を目指します  
無料Wi-Fiスポットの更なる充実を目指します
  - ◆未来を担う子育て・孫育てが笑顔を増やします  
空き家活用で多世代交流の場を作り、シルバー世代の人材を活かします  
幼い子どもを持ち働く親が、安心して暮らせる環境づくりを応援します
  - ◆災害に備えるしなやかな街づくりが安心につながります  
学びの中で子ども自らが考え、命を守る行動を学校教育に反映することを目指します  
災害時の避難所設置にむけ、女性専用やバリアフリー対応など多様性に配慮した運用を目指します
- これまで私は松阪の街の活性化を通して、松阪を好きになってもらうきっかけを作る活動を行ってきました。  
市民誰もが笑顔にあふれ、松阪をもっともっと『自慢したくなる街』になるよう、みなさんとともに目指していきます!



無所属  
**ほりよし たかお**  
**ほりばた脩**  
67歳

## 7つの公約 防災の町づくり

- 1 防災議員として防災のまちづくり、広域連携のネットワーク化を推進
- 2 弱い立場の人々への行政施策の改善と福祉のまちづくりを推進
- 3 豊かで活気のある生産都市づくりの振興と雇用の充実を推進
- 4 市民の善意による助け合いと思いやりのある福祉のまちづくりを推進
- 5 超高齢化社会でも出かけられる循環バス停を設置
- 6 地域の会員として参加交流をはかり、その声に耳を傾けます(ゲートボールなど)
- 7 鳥獣害の対策に努めます



さらに力強く、明日への橋渡し...



無所属  
**たちばな だすけ**  
**たちばな 大介**  
40歳

## 松阪が一番!! MATSUSAKA IS NO.1

- MAIN POLICIES 「重点政策」**  
20年後の松阪市を見据えて、今何が必要なのか。市政の不便、不合理、非効率の解消を目指します!
- 01 地域公共交通**  
高齢者の問題だけでなく全ての年代の課題です。通勤、通学、買い物、病院など快適になるように取り組んでいきます。
  - 02 安心な地域医療**  
世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。ワクチンの接種体制など含めて安心な地域医療を目指します。
  - 03 未来への投資と企業誘致**  
中学校、高校生が就職したくなる企業、または県外の大学、短大、専門学校生が帰りたいくなる企業とは何かを取り組んでいきます。
- DAISUKE TACHIBANA  
**たちばな 大介** 松阪市殿町出身・平成町在住
- 松阪市立第一小学校 卒業
  - 松阪市立殿町中学校 卒業
  - 私立鈴鹿高等学校 卒業
  - 明治大学公共政策大学院 修了
  - 明治大学客員研究員
  - 地域医療と松阪市民病院のあり方調査特別委員会 副委員長

## 観光は市の財源

観光客を呼び込むには、松阪のシンボルとして松坂城天守閣が重要である。  
たくさんの観光客を呼び込めば松阪駅前周辺に人が集まり、にぎわいの町となり、商店街も活気づき町が活性し、発展すれば財政も豊かになる。その財源が高齢者介護・福祉・教育・子育て・災害・緊急事態などの手当、保護につながる。



**松阪市民病院存続**  
松阪市民病院は名前のごとく市民のための病院であり、市民の健康と命を守る必要な病院である。病院の存続こそが市民が健康で安心して暮らせる明るい町づくりとなる。



無所属  
**なかじま なおひこ**  
**中島政直**  
65歳

(この選挙公報は、候補者からの原稿をそのまま印刷したものです。)